

■英国：GDF スエズが英国でのシェールガス開発に参入

フランスの大手エネルギー事業者 GDF スエズは 2013 年 10 月 22 日、豪州系ガス探査会社ダートエナジー（本社：シンガポール）が所有する英国北西部のシェールガス開発の権益の 25%を取得すると発表した。GDF スエズが同国でシェールガス開発に参入するのはこれが初めてとなる。対象はチェシャー州からミッドランズ東部におよぶ 13 鉱区（1,378 km²）で、英国地質調査所（BGS）の調査で約 40 兆 m³のシェールガス埋蔵量があるとされる Bowland 区域も含まれる。GDF スエズは権益の購入費の 1,200 万ドルを支払うほか、探査費用として 2,700 万ドル支払うことになっている。同社は英国エネルギー気候変動省（DECC）の認可を得た後、ダートエナジーと共同で同地域の掘削を進めていく意向である。GDF スエズ副社長ジャンマリー・ドジェ氏は「英国にはシェールガスのポテンシャルがあり、我々の開発が同国のエネルギーセキュリティに貢献すると信じている」と述べている。英国内では、シェールガス開発を政府が推進する一方で、環境保護団体等がシェールガス開発に反対の意を唱えており、ダートエナジーのジョン・マックゴールドリック社長は「われわれが開発するシェールガスは英国の 4 年分のガス需要を賄い、国内の雇用にも貢献するものであり、開発への反対はその可能性を失わせる可能性がある」と述べて、反対行動を危惧するコメントを出している。